

平成 19 年度環境・安全技術系活動報告

堀木 幹夫

工学研究科・工学部技術部 環境・安全技術系

1. はじめに

環境・安全技術系は技術長 1 名、前任専門技術職員 1 名、環境技術班（班長 1 名、班員 2 名）、放射線技術班（班長 1 名、班員 4 名）、安全技術班（班長 1 名、班員 2 名）、総計 13 名で構成されている。

2. 環境・安全技術系の実施業務

環境・安全技術系は主たる任務として、工学研究科および全学の環境・安全・衛生に関わる共通的な業務を遂行している。同時に、各専攻や講座からの業務依頼にも対応している。

工学研究科等の環境・安全に係わる共通業務は、環境安全管理室、放射線安全管理室、工学研究科核燃料計量管理室、全学の核燃料管理施設等の室に技術職員を派遣し、実行している。室ではないが、Co-60 照射施設の管理、工学研究科実験系排水柵の保守管理、全学環境安全衛生管理室実施の有機廃液等の回収業務、災害対策室、全学の省エネルギー関連の研究会の業務も実施している。

専攻等からの依頼業務について以下に列記する。

量子エネルギー工学専攻からの依頼（工作室等共通室の管理、各種委員会支援、放射線施設の放射線管理）、航空宇宙工学専攻からの依頼（危険物倉庫の管理、講座支援）、環境学研究科からの依頼（地震観測機器の維持管理、学生実験支援等）、社会基盤工学専攻からの依頼（情報機器管理支援、学生実験支援）、エコトピア科学研究所からの依頼、等。

これらの業務は平成 18 年度と比べて、大きな変化はない。環境・安全技術系においては、共通的な業務で工学研究科や全学に貢献していると考えている。

3. 系の運営に関わる業務

3.1 系業務調整会議

系の運営を議論する目的で、今年度は以下のように概ね、2 ヶ月程度の間隔で定期的に業務調整会議を開催した。

- | | | |
|-------|-------------------|--|
| 第 1 回 | 平成 19 年 4 月 19 日 | 業務調整会議の持ち方、系の今年度の課題、当面の課題、系面談、系の研修、新人に対する研修 |
| 第 2 回 | 平成 19 年 5 月 30 日 | 第 1 回業務報告会（案）、当面の課題、系面談、系の研修、その他技術部を巡る動き |
| 第 3 回 | 平成 19 年 7 月 24 日 | 第 2 回業務報告会（案）、系講習会、各種予算の執行、系面談のまとめ、今後の課題 |
| 第 4 回 | 平成 19 年 9 月 20 日 | 系講習会（案）及び第 2 回業務報告会（案）、各種予算の執行、平成 19 年度後期実験系排水柵保守管理業務、教育・研究支援専門委員会報告、その他 |
| 第 5 回 | 平成 19 年 11 月 22 日 | 第 3 回業務報告会（案）、各種予算の執行、系運営・系業務の円滑な継承 |

第6回 平成20年1月24日 第4回業務報告会(案)、系出張報告会(案)、各種予算の執行、系運営・系業務の円滑な継承、系専門委員会、平成20年度前期実験系排水柵保守管理業務、平成20年度系の組織体制
3月に第7回の系業務調整会議を開催する予定である。

3.2 系専門委員会

3月に系専門委員会を開催する予定である。

主な予定議題は以下のとおり。

平成19年度の系専門委員会の構成等、平成19年度の業務依頼申請書の受理状況、環境・安全技術系の業務の特徴、技術部及び環境系構成員の資格取得状況、今後の課題(専攻等と共通業務との業務のバランス、技術部の集中化への対応、退職者の補充問題、平成20年度実験系排水柵保守管理業務)

3.3 系面談

平成19年度は各人の業務の実施状況、業務に対する希望、技術部・系の運営に対する意見・希望・不満等を把握するために、以下のように個別面談を行った。

第1回 日時：平成19年6月26日(火)9:00~12:00

場所：工学部6号館小会議室

対象：大久保、宮嶋、釣田、橋本、今井、下山

面談実施者：堀木技術長、大久保先任専門技術職員(大久保先任専門技術職員にたいしては、堀木技術長)

第2回 日時：平成19年7月3日(火)9:00~12:00

場所：工学部7号館環境安全管理室会議室

対象：岡田、平墳、松浪、長嶋、斉藤

面談実施者：堀木技術長、大久保先任専門技術職員

各人への面談により、各人の要望、意見等が把握でき、今後の業務の実施上、貴重なものとなった。

4. 系に関わる研修等

4.1 研修

今年度、環境・安全技術系が関わった技術部の研修等について以下に列記する。

工学部技術部研修(平成19年12月4日発表)

名古屋大学における労働安全衛生マネジメントシステムの適応の検討

松浪 有高、大久保 興平、平墳 義正、斉藤 彰

名古屋大学における安全教育教材の電子化

平墳 義正、中務 孝広 電子・情報技術系

これらの内容については、本技報に掲載されている。詳細な内容は技報を参照して頂きたい。

平成19年度実験・実習技術研究会(平成20年3月6-7日、於：徳島大学工学部)

大学知的財産本部整備事業に係わる内部人材養成研修報告

斉藤 彰、福森 勉 装置開発技術系

核融合科学研究所技術報告会(平成20年3月10-11日、於：核融合科学研究所)

名古屋大学大学院工学研究科における安全衛生教育の現状と課題

堀木 幹夫、大久保 興平、平墳 義正、斉藤 彰、松浪 有高、中務 孝広、江川 智昭
電子・情報技術系、名古屋大学情報メディアセンター

名古屋大学技術研修会（平成 20 年 3 月 13 - 14 日）

名古屋大学におけるリスクアセスメント実施の検討

松浪 有高、斉藤 彰、平墳 義正、大久保 興平

工学研究科化学実験室における化学物質リスクアセスメント事例

近藤 一元、宮嶋 伸好、斉藤 彰、松浪 有高、高井 章治、安達 幸男
分析・物質技術系

4.2 講習会

今年度は平成 19 年 10 月 17 日に、以下の内容で系の講習会を実施した。

放射線障害防止法などについて

釣田 幸雄 技術主任

建築基準法関連法規

平墳 義正 技術主任

これらの内容のアブストラクトは本技報に掲載されているので、参照して頂きたい。

4.3 業務報告会

各人が実施している業務について、相互に理解を進めるために業務報告会を実施した。

四半期毎に系の半数づつが報告する形式で以下の日程で行った。この業務報告会で半年に 1 度各人が業務報告を実施することになる。

第 1 回 平成 19 年 6 月 18 日（火）13:30～15:30

第 2 回 平成 19 年 10 月 17 日（水）13:30～15:30

第 3 回 平成 19 年 12 月 12 日（水）13:30～15:30

第 4 回 平成 20 年 3 月 18 日（火）13:30～15:30（予定）

内容は半年の間に各自が実施した業務にスポットをあて、各人が困っていることや、考えていることを報告する。時間は概ね、報告 10 分、質疑 5 分程度。業務報告会は実施から、3 年を経過し、定着してきた。業務報告会を定期的実施することにより、各人が行っている業務の状況については確実に理解が深まってきている。小さいプレゼンを積み重ねることにより、プレゼン能力もアップしてきている。今後は、現在の 10 分程度の短時間の報告に加えて、時間を長くとした業務報告等の実施も検討していきたい。更に各人が置かれている専攻内、工学研究科内での位置づけ等にも各人が目を配れるような、より質の高い報告を求めていく。

4.4 総長裁量経費プロジェクト

平成 19 年度の特記事項として、環境・安全技術系が中心となり、総長裁量経費プロジェクト「名古屋大学における労働安全衛生マネジメントシステムの構築（OSHMS-NU）構築のための人材育成と調査」の採択を受けた。プロジェクト担当者として、当系から大久保、宮嶋、岡田、平墳、斉藤、長嶋、堀木、松浪（取り纏め）、他系から近藤（工学部技術部分析・物質技術系）、皆川（工学部技術部装置開発技術系）、伊藤（全学技術センター医学技術系第 2 医学系）、三品（環境安全衛生管理室）が参画し、各種講習会の参加、大学・研究所等の安全衛生の取り組みの調査等に参加した。

（平成 20 年 2 月 13 日、脱稿）